

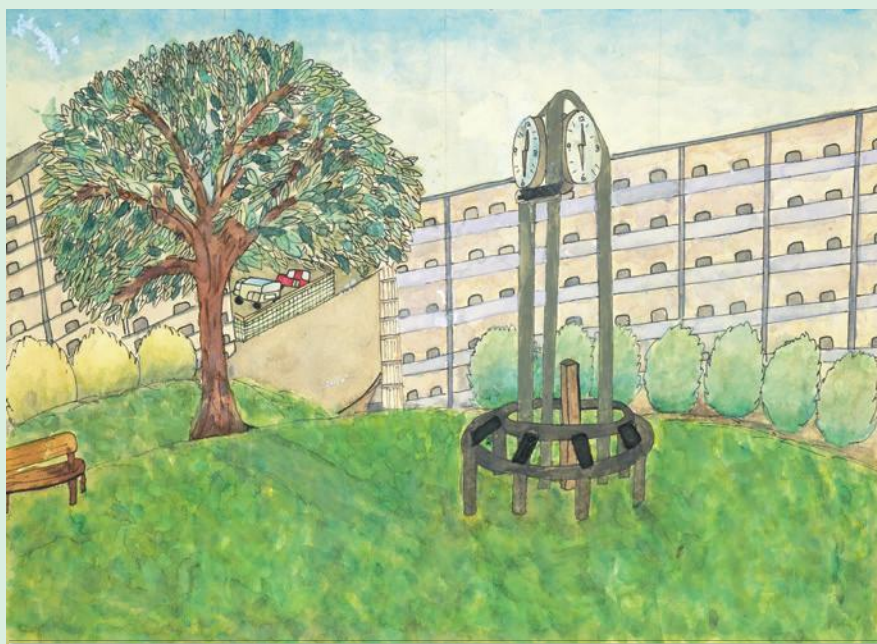
浦安の子どもたちとともに

# べかぶね

令和元年11月  
第318号



浦安市青少年センター 浦安市青少年補導員連絡協議会  
〒279-8501 浦安市猫実1-1-1 TEL(351)1111



作品名

「私のお気に入りの場所」

富岡小学校六年 齋藤 心

ここは、私が友だちと小さい頃からずっと遊んできた私のお気に入りの場所です。

緑の芝生の様子や色を本物のように出すために工夫して色を重ねました。時計台の灰色づくりが難しかったです。これからもずっとこの場所を大切にしていきたいです。

指導された先生から

鈴木 浩子

芝生や木の葉など緑色を使うことが多く緑色の色づくりを工夫しました。遠近感や影を表現するために、筆だけでなく布やスポンジを使って着色しました。心をこめて一筆一筆丁寧に描き上げた作品です。

## 平成30年度浦安市青少年健全育成標語コンクール

最優秀賞 深めよう 地域交流 あいさつで 東京学館浦安中学校 3年 福山 由渚

最優秀賞 「大丈夫？」は 心をいやす 傷薬 富岡小学校 6年 小黒 隼



「べかぶね」の名前の由来

べかぶねとは、漁船の中でも一番小さな船で海苔取り舟のことを言う。青少年が社会という荒波をもがきながら必死に生きていく姿が、べかぶねに似ていることから広報紙の名前となりました。

### 第二回青少年センター運営協議会

7月9日(火)に、浦安市青少年センター運営協議会が開催されました。この協議会は、青少年センターの適切な運営を図るために設置されているものです。今年度は人事異動などで3名の委員の交代があり鈴木教育長より、委嘱状が交付されました。



議題は、平成30年度補導・相談実績、青少年補導員連絡協議会活動の報告事項、令和元年度活動方針及び活動計画の協議事項について事務局より説明し、質疑応答がありました。また、情報交換・意見交換を行いました。浦安警察署からは、「県内における少年非行の状況について」、市川児童相談所より、「児童虐待の概況について」、その他、各所属における青少年の現況や取組についてのお話しをしていただきました。青少年を取り巻く環境が複雑化、多様化している中で、非行防止や健全育成のためのより良い環境作りには、これまで以上にお互いの連携・協力が必要であると共通理解を深めました。

1年間で3回開催されます。

### 県下一斉合同パトロール

7月26日(金)午後5時半より、JR新浦安駅周辺で千葉県青少年補導員連絡協議会の「県下一斉合同パトロール」実施計画に基づき開催しました。これは国の定める「青少年を健全に育てる運動」の時期に合わせ、県内で一斉に街頭補導活動及び啓発活動を実施するものです。今年度は、県立浦安高校・東海大学付属浦安高校・明海大学の学生・生徒さん、浦安警察署員、青少年補導員など、70名近い参加者がありました。

「ためらわず明るく笑顔で「愛のひと声」のスローガンのもと、学生・生徒さんは積極的にうちわやポケットティッシュといった啓発品を配布し、受け取られた市民の方から「頑張ってください」と声をかけていただく場面もありました。「ひと声」から生まれる温かい雰囲気を感じながら、学生・生徒さんも楽しんで活動してくださった様子でした。皆さんのご協力で活動は無事に終了いたしました。

その後は、8ブロックに分かれての市内全域のパトロールとなりました。



### 花火大会パトロール

第40回浦安市花火大会は、当初予定していた27日(土)が荒天のため、7月28日(日)に順延しての開催となりました。補導員とセンター職員合計25名で、3班に分かれて、それぞれ日の出公民館から観覧会場及びその周辺をパトロールし、子ども達への声かけ、見守りを行うことで、青少年の事件・事故防止と非行防止などに努めました。

昨年の花火大会が台風の影響を受け中止となり、二年ぶりの開催となりましたが、今回は、順延ということと、例年に比べてみると、家族連れだけでなく、浴衣や甚平姿の若者も少なかったようで、通路が人混みであふれることなく、スムーズにパトロールすることができました。

時折、強い風が吹きましたが、大会終了後の事件・事故の報告はなく、無事に終了しました。



### 盆踊りパトロール

台風10号の影響は浦安地区にもあったものの、盆踊り大会は両日も行なわれました。例年に比べると、出足は鈍かったかもしれませんが、それでも時間経過とともに盆踊りの輪も大きくなり、台風にも負けず、会場は活気に満ち溢れていきました。

青少年補導員は2班に分かれ、周辺での見守りを行いました。

何も問題なく無事に閉会しました。それもひとえに、様々な立場や役割の沢山の方々が、見守り活動を実施出来ている賜物ではないかと感じました。そして、地域全体での見守り活動は、健全な抑止力だと言うことを改めて思い直しました。また、やぐらには「こんな一文も目にしました。『親から子』へ『子から孫』へつなごう踊りの輪」「元町から中町」へ「中町から新町」へつなごう浦安の心」ご先祖様を送り出す盆踊りの輪と、浦安一丸となって地域ぐるみで子ども達の安全を願う気持ち、その一つの形が浦安納涼盆踊り大会だと言うことを実感し、絶やしてはいけない文化の炎だと痛感した二日間でありました。



### 一日補導員研修(視察研修)

9月13日(金) 補導員22名、センター職員2名で「千葉法務少年支援センター(千葉少年鑑別所)」へ視察に行きました。まず初めに、柿木所長から鑑別所の概要や、非行少年の1日の過ごし方、ここを出た後の少年たちがどのように処遇されるのか等のレクチャーを受け、その後施設内を見学しました。鑑別所は、法務省の管轄で、全国に52か所あります。教育や指導をするところではなく、非行の原因がどこにあるのかを調べるのが目的の施設です。少年達は概ね4週間から長くて8週間生活しますが、普段の生活はこうして、勉強の他に運動や読書の時間、娯楽の時間もありません。最初に思っていた窮屈なイメージはなく、比較的シンプルで自由なものでした。

それまでの環境で芽生えてしまった大人に対する不信感を取り除き、しっかりと信頼関係の元で鑑別できるような、様々な工夫が施されています。90人が収容できる



この施設に、現在10人の少年がいます。送致される少年の4割以上が詐欺を原因としたもの、とりわけ近年は特殊詐欺の「受け子」「出し子」であったケースが増えているとのことでした。

所長の「ここに来る子は『加害者』である一方、そこに至る前に家庭や学校などで『被害者』だったケースが多い。社会に戻った後からがスタート。社会が彼らを無視したり排除したりすることなく、声をかけ、関心を寄せて、孤独を感じさせないで欲しい」との話が大変印象的でした。



退所はしたものの、二度・三度と戻ってきてしまうケースもあるそうです。受け入れ態勢が整っていないかった、居場所がなくなったなど理由は様々と考えられます。地域で迎えられるような温かいシステム作りのために、私たちの「愛のひと声」が社会との関わりを感じさせられる一助になるのだとの思いを強く、今後に向けて改めて襟を正す視察となりました。



### 第50回千葉県青少年補導(委)員大会

県下の青少年補導(委)員をはじめ、青少年補導センター職員など関係者約550名が一堂に会し、9月28日(土)に我孫子市のけやきプラザで開催されました。今回は、50回という記念すべき大会となりました。永年にわたり補導員として活動した方への表彰も行われており、今回本市からの受表彰者はいませんでした。

また、我孫子市の青少年補導員活動の事例発表や記念講演として、「地域で子どもを見守る」をテーマに星幸広氏の記念講演も行われました。星先生は、警察在職中は、少年課長、各署長などを歴任され、退官後は、千葉市で防犯アドバイザーなどを務められる一方で、子育て・しつけや学校の危機管理に関する講演を全国的に行なっており、著書も多数ある方です。まさに、今後青少年補導員が、めざすべき姿のお話が講演の中に数多く盛り込まれていました。

参加者のみなさんは、熱心に耳を傾け



拝聴し、うなずいていたのがすごく印象的でした。大会に参加することによって、日頃の補導活動を再認識し、意識の高揚を図ることが出来ます。

ここで、大会決議の一部を紹介します。

私たち青少年補導員は、次代を担う青少年を常に温かく見守り、支え続けることが第一の使命です。

このため、私たち青少年補導(委)員は、次のことを推進していきます。

- 一 多くの青少年に「愛のひと声」をかけるように努めます。
- 一 青少年健全育成団体や関係諸機関と連携し、青少年の健全育成非行防止に努めます。
- 一 計画的に研修会や講演会を開催し、補導(委)員の資質向上に努めます。
- 一 様々な機会を利用し、多くの青少年の非行防止と被害防止の啓発に努めます。
- 一 青少年の健全な成長を妨げる、有害環境の浄化に努めます。
- 一 パトロールを通して、青少年の生命を守る活動に努めます。

来年度は、銚子市で、令和3年度は浦安市での開催となります。



# 令和元年度 船橋地区ブロック補導員研修会

10月1日(火)に、船橋地区の5市(船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市)の補導員及びセンター職員総勢36名が、青梅市にある社会福祉法人東京恵明学園(児童養護施設)を視察してきました。

今回は、習志野市・市川市両市の御尽力により県外視察という貴重な体験ができました。

恵明学園は、当地に1970年に移転し乳児部と児童部があり、そのうち、児童部を視察させていただきました。

児童部園長の岡本さんから、施設概要や子ども達の日々の生活の様子を詳細に伺いました。児童相談所を通じて、措置される様々な理由で保護者と暮らすことのできない2歳から18歳までの子ども達を家庭に代わって養育している施設で、男女合わせて51名が入所しています。

最近では、児童虐待により入園する子どもには、発達遅滞、発達障がい、疑われ、コミュニケーション能力の低さといった傾向が多いとのことでした。また、自己肯定力が弱く、対外的にも不適応な行動が見受けら



れ十分にケアされないと家出や非行につながってしまいます。

施設側としては、そういった様々な課題を持つ子ども達一人ひとりに専門職がきちんと寄り添い支え、日常の衣食住を通して、信頼関係を築きながら将来的な自立に向けた「生きる力」を身につけてもらいたいとしています。

食事、学習、余暇活動、季節イベントとまさに子ども達にとって、きめ細かく丁寧な養育が行われています。

卒園後に社会人となったら終了ということではなく、その後も関わりを持ち続けまさに切れ目が無い支援と深いつながりがそこにはあります。

バサーやフェスティバル、学園見学会などを実施することで、地域に門戸を開き、共存し地域交流も活発に行うことで、絆を深め地域で子どもを育てることにつながっているのではないのでしょうか。

参加した全員が、子ども達の実情をより理解することで今後の補導活動に少しでも役立てればと感じています。



# 一日補導員キャンペーン 青少年補導員活動体験

10月5日(土)、富岡公民館において、一日補導員キャンペーンが開催されました。

まず、上平会長からの挨拶に続き、山口理事より青少年補導員の役割や活動についてプレゼンテーションがありました。

次いで、千葉県警察京葉地区少年センターの黒岩上席少年補導専門員より「青少年の非行防止と健全育成について」の講演がありました。浦安市の少年非行の傾向として、今他市と比べて荒れてはいませんが、ネットの問題などこれまでと違う層が問題を抱えている現状があるとのことでした。また、全国で犯罪、少年非行は減少しているが、少年の再犯率は高止まりしており、少年達が安易に「電話de詐欺」の受け子などで犯行に加担し、少年院から出て家庭状況の悪さなどから、再び犯行を繰り返す傾向にあるとあります。さらに、子ども達がネットですぐに知り合った人を簡単に信じ、会って被害に遭うなど、SNSによる児童の福祉を害する犯罪が後を絶たず、ますます低年齢化している現実があることもわかりました。私



ち大人は、無防備にスマホを子どもに手渡すのではなく、子どもの成長を見つ、危険を知り、管理し、ルールを作り守らせるという手順を、

きめ細かく踏む必要があることを感じました。子ども達をネットトラブルから守るのはまずは、ご家庭からです。

お子さまがSNSやインターネットを利用するときは、黒岩講師も評価してくださった「うらやすっ子SNSルール」をもう一度確認してみてください。

講演後、補導員活動体験として富岡・今川地区を2班に分かれてパトロールしました。汗ばむほどの良い天気、土曜の昼前で、中央公園の野球場では、中学生の大会が開かれていました。家の中で遊ぶことが多くなっている中で、汗をかき、スポーツをしている姿はとてもいいものです。

参加していた生徒や保護者に、一生懸命声をかけてPRしました。

今後とも補導員活動について、多くの方に知っていただき、ご理解とご協力下さいますようお願い致します。



### 市民まつりパトロール

10月19日(土)・20日(日)に浦安公園をメイン会場として、第22回浦安市民まつりが盛大に開催されました。

初日の朝は雨が残っていました。が始まる頃には止み、徐々に来場者も増えてきました。青少年補導員連絡協議会は、今年も出店しました。

出店ブースでは、補導員の活動を広く知ってもらうために、活動パネルの展示のほか、補導員に因んだクイズ形式のアンケートを実施しました。参加者には駄菓子、ボールペンやポケットティッシュなどの啓発品を配布し、「青少年補導員を知っていますか」などの声かけを行いました。

ブースを訪れる子ども達や親子連れもとても多く、どうやらたくさんの方々に活動をうまくPRできたようです。また、市補連の帽子とシャランパーを身に付けて、会場内をパトロールしながら、青少年の見守りも行いました。

会場内は、子ども達を楽しめるコーナーやイベントも沢山あってとても楽しい二日間だったと思います。



### 第2回ブロック会議

第2回ブロック会議が、9月6日から20日にかけて各中学校区ブロック毎に開催されました。上半期の活動報告と今後の活動予定、不審者情報、学校での児童・生徒の様子等について活発な意見交換・情報共有を行いました。

また、台風15号の学校での被害状況についても報告がされました。台風15号及び19号では、市内でも、ガラスが割れたり、雨漏り、屋根の破損、停電など多くの被害があり自然災害の恐怖を改めて思い知らされました。被害に遭われた方々に、お見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

#### 補導員紹介 美浜中学校ブロック

7月19日(金)美浜中学校の終業式で、体育館において補導員紹介が行われました。

教頭先生から補導員への感謝の言葉をいただき、それぞれ自己紹介をしました。その後、上平会長が活動内容について説明し、安全に過ごすために日頃から気をつけてほしいことをお話ししました。生徒達が真剣に話を聞いている姿が印象的でした。

### 青少年相談がメールでもできるようになります

青少年センターでは、青少年を対象にした様々な悩みや問題等の解決に向け、電話と来所相談にて専門の相談員がお受けしていますが、11月20日より24時間メールでの相談も受付いたします。

対象は、市内に在住・在学・在勤の青少年とその保護者です。利用方法は、市ホームページから「子育て・教育」「青少年の教育・支援」選択して、「青少年相談」に入力してください。または、左下の二次元バーコードを読み取ることもできます。

メール受信後、概ね5日以内(土日・祝日、年末年始を除く)にメールにて回答いたします。ただし、虚偽、なりすまし、他人や団体の悪口・誹謗中傷、嫌がらせ、いたずらと思われるものや迷惑メールについては受付しません。

引き続き電話相談(351) 1152や来所相談(要予約)もご利用ください。

インターネットの普及やスマートフォンを持つ子どもが急速に増えている中で、潜在する悩みや様々なトラブルは大人には非常に見えにくくなっています。さらに、最近の相談

対象者の青少年には、集団生活の中でその場の雰囲気に合わせてられない、他人の気持ちを思いやることのできない、感情の起伏が激しいといった特徴が見受けられます。こういった子ども達への相談には、青少年相談だけでは、対応できない場合もあり、様々な関係機関との連携と協力が必要ですので、そういった専門機関の紹介も行っていきます。

中学を卒業すると義務教育から外れてしまい、様々な支援体制が手薄になりやすい現状において、青少年相談では役目を果たしていきたいと考えています。

ご家庭でお子様の変化を感じたらためらわずご相談ください。また、当事者や家族だけで悩みを抱え込まないことが大切です。

青少年相談  
二次元バーコード





### 東野小学校・防災体験型小学校宿泊キャンプ

現在、浦安市内の多くの小学校で行われ、小学生の夏の楽しい恒例行事となっている「学校キャンプ」をご存知でしょうか。「学校キャンプ」とは、小学校に宿泊して食事作りからレクリエーションまで、親子で様々な体験ができるイベントです。企画・運営は各小学校の「お父さんの会」が行い、在校生と保護者は誰でも参加することができます。

今回東野小学校では、「防災」をテーマに「学校キャンプ」が実施されました。その企画意図について、東野小学校お父さんの会長・日暮一正さんにお話をいただきました。

2019年7月、東野小学校で「1泊2日の小学校に宿泊するキャンプ」を実施しました。対象は本校所属の小学生とご家族、今回は151名が参加しました。

プログラムとして、①古着などを用いた担架の作成と運搬、②段ボールハウス作成、③五右衛門風呂入浴体験、④カレーや釜戸による米の炊出しを行いました。夜には恒例のキャンプファイヤー



を実施し、終了後は校内にて宿泊。猛暑など環境が悪いことや、集団就寝の大変さなどを体験しました。翌日は朝食後、校内一斉清掃を実施し、午前中に解散しました。



小学校で防災型のキャンプを行う意義は以下の3つです。①いざという時の避難所となりルールを学ばせ、②野外活動が生活の基礎であり、自らが動かないと生きていけないことを体験する、③防災型体験により、子ども達が自ら地域の中でコミュニケーションを作り、協力して生きていくことの大切さを学べることです。

今回のキャンプでは大人が全て準備する流れとは異なり、参加者が本人が苦労しながら活動することで、皆で生活を作り上げる成功体験が実現出来たと思います。開催後のレガシーとして、地域の中で挨拶の輪が広がったなどの報告もありました。子ども達がまだ小さなうちに、地域として、親として、どのような記憶を残してあげることが出来るか。これからも考えて様々なイベントを企画したいと思えます。

### レゲエラジオ体操

8月31日(土)夏休みの最終日、サンコー浦安自治会の広場では、レゲエ風にアレンジされたラジオ体操、「ダンスホールラジオ体操」が行われました。朝7時から集まった90名近くを指導して下さったのは、ダンスホールラジオ体操の考案者で世界的ダンサーのReggaeShuco(ら)がしゅこー)さん。なじみ深いラジオ体操の曲に合わせて踊るレゲエダンスに初挑戦の皆さん。広場には、大人の照れ笑いと子ども達の弾ける笑い声があふれました。来年は、自治会の夏祭りでの実施案もあるそうです。実現すれば、さらに多くの方に新しいラジオ体操を体験していただけるのではないかと今から楽しみです。また、こちらの自治会では、普段からラジオ体操の準備や片付けなど子ども主体で行われています。この日も、6年生が前に出て模範体操を見せてくれました。のびのびと活躍する子ども達と見守る大人がいて、ともに楽しみながら地域のつながりを深めていく素敵な取り組みだと感じました。



### PTAリサイクルバザー

10月5日(土)、日の出中学校にて「PTAリサイクルバザー」が開催され、来年度の新生や在校生の親子で賑わいました。卒業生から寄付された制服や体操服、校章や部活のユニフォームなどが安価で販売され、収益はPTA活動費に充てられます。

来校した3年生の保護者は、「入学時に購入した制服がきつくなってきました。今から新調するよりここで買えたら助かります。小さくなった制服は来年度寄付したいです」と話していました。6年生の男子児童は、「制服を試着して中学生になる実感が沸きました。ここで会った中学生から陸上部に誘われて嬉しかった」と笑顔を見せました。最近生徒の数も減少し、開場前から行列が出来て整理券が配られるという事はなくなりましたが、小規模でもずっと続けて欲しいと思う催しでした。生活が豊かになり、食べたい時に食べ物があふれる時代ですが、欲しいときに物があふれる時代ですが、お金や物を大切にすることが大切になっていきたいと思います。



### 始業式・早朝パトロール

○9月2日(月)

一学期の始業式に合わせて、青少年補導員と青少年センター合同で、早朝パトロールを実施しました。そこには、夏休みが明けて、久しぶりに元気に登校する日焼けした子ども達の明るく成長した笑顔がありました。補導員は、校門や近くの交差点に立って子ども達を安全に誘導しながら、笑顔であいさつを交わして見守り活動を行いました。また、浦安警察署のパトカーなども巡回して見守りをしてくれました。



### 中央パトロール

○7月31日(水) Bパトロール

冷夏と言われていましたが、ようやく梅雨が明けて夏の日差しとなりました。日中の暑い時間帯でしたので、公園で遊ぶ親子連れに熱中症に気をつけるように声かけをしました。

○8月7日(水) Aパトロール

小雨が降る天気のため、青パトロールカーでの市内全域を対象とした巡回となりました。特に、補導対象となる事案はありませんでした。

○9月17日(火) Dパトロール

日没が早くなってきました。相変わらず自転車ルール違反が多く、無灯火走行大人12件、子ども2件などに声かけを行いました。ながらスマホもいて、重大な事故につながることも考えられるので止めてもらいたいものです。その他、公園などをパトロールしましたが、特に補導対象となる事案はありませんでした。

○9月25日(水) Cパトロール

浦安駅前周辺での、徒歩によるパトロールでは、特に異常はありませんでした。その後、青パトロールカーにより新田地区をパトロールし、無灯火走行、逆走、ながらスマホに声かけを行いました。

#### パトロールの実施時間

Aパトロール	10時～12時
Bパトロール	14時～16時
Cパトロール	16時30分～18時30分
Dパトロール	19時～21時

#### 補導の状況

(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

行為別	人数
怠学	0
喫煙	0
飲酒	0
たむろ	0
夜間ゲームセンター	0
自転車二人乗り	62
自転車危険走行等	413
帰宅指導	35
その他	12
合計	522

### 地区パトロール

(6月～9月までのパトロール日誌より)

#### 浦安中ブロック

補導員参加者が多い日、2班に分かれてパトロールを実施しました。浦安中学校の井上教頭先生にも参加して頂き公園を中心にパトロールしました。夏休みが終わり始業式の日、東小學校正門で、岡崎教頭先生と一緒に大きな声で「おはようございます」と挨拶。夏休みに作った海の底を描いた工作を見せてくれた女の子「ありがとう」とも上手に出来ていました。何だかとても嬉しい気持ちになりました。もう一度見せてくれて「ありがとう」。

#### 堀江中ブロック

月2回のパトロールを行い、2班に別れて富士見、舞浜地区と堀江地区に別れ行いました。1班は富士見、舞浜地区で、20時ごろ富士見一丁目しおかせ緑道で女子高校生4人が2台ずつ並走していたので気を付けて帰るように声をかけました。

また、別の日にも、しおかせ緑道にてダンスの練習をしている高校生が3人ほどいましたので、早く帰るように声をかけました。

2班の堀江地区ではこの時間帯には子ども達には会う事はありませんでしたが、危険箇所を確認しながらパトロールしました。また、無灯火自転車相変わらず多く声かけが必要だと思います。

## パトロール 日誌



#### 見明川中ブロック

8月21日は、青少年健全育成の夜間パトロールと合同で行いました。

2班に分かれ警察官の同行もあり、無灯火自転車への声かけ、行き交う人には、あいさつをしました。特に警察官からの無灯火への声かけには、皆さんと従っていて、違いを感じました。

富岡中ブロック

早朝パトロールは、東野地区を中心に登校の見守りを行っています。歩道が狭く車道にはみ出して歩く中学生を多く見かけ、危険なので歩道を歩くよう声をかけました。

また、クレストフォルム南西の交差点は信号が無く、車・自転車・歩行者が交錯するので危険、気をつけるよう声をかけました。

夕方のパトロールは、富岡・東野地区の公園や広場を中心に行っています。昼間は暑いせいか夕方から外で遊び始める子ども達に出会い、早めに帰宅するように呼びかけました。

美浜中ブロック

午後7時より夜間パトロールを行いました。学校の先生も参加してくださいました。夏休み中ということもあり、子ども達が集まりそうな公園、美浜公民館、小学校周辺をパトロールしました。時間が遅かったためか、子どもの姿はありませんでした。

美浜南小学校付近で自転車2台が無灯火で走行していたため「ライトをつけてください」とお願いしました。

入船中・高洲中ブロック

入船中央エスレート前交差点で車道を走行している自転車車が、以前より交通ルールを守っていません。「自転車も車両」という意識が出来てきたのでしょうか。

入船中学校裏の第一期埋め立て堤防を、男子高校生2人と男性1人が乗り越えようとしていたので、危険なので降りるよう声をかけました。そのまま高洲側に歩いて行きました。

日の出中ブロック

日の出小と日の出中の校門付近で登校の見守りをしました。ここ数ヶ月は不審者情報もなく、子ども達は笑顔で登校していました。

その後、通学路のパトロールを行いました。

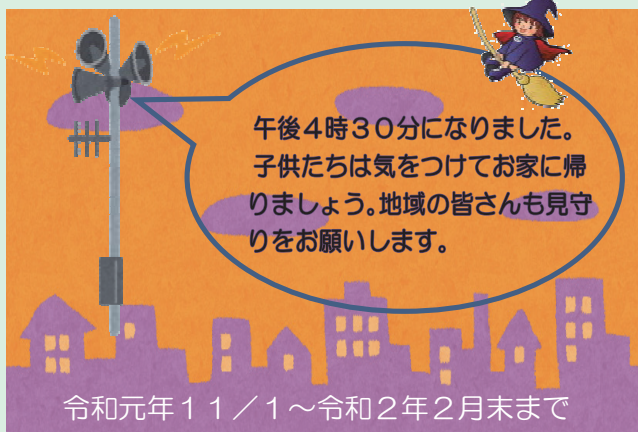
明海中ブロック

朝、学校の門の前に立っていると、皆子ども達が元気な声であいさつしながら登校しています。

夕方公園で、遊んでいる子ども達には、日没が早くなってきたので、早く帰るように声をかけをし、変質者の話も耳にしますので、団地の中も見回るようにしました。コンビニ、交番にも立ち寄り地域の様子を聞きましたが、問題はないとのことでした。

「子どもの帰宅を促す放送」のお知らせ

市では、子どもを犯罪や事故等から地域で守るために、日没時間が早まる11月1日から2月末日まで、毎日午後4時30分に防災行政無線による「子どもの帰宅を促す放送」を実施しています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



行事予定

- 12月
  - 市川市・浦安市隣接地域補導関係者協議会 13日(金)
  - 市補連第6回理事会 19日(木)
- 1月
  - 早朝パトロール 6日(月)
  - 市補連第7回理事会 16日(木)
- 2月
  - 情報交換会 7日(金)
  - 市補連第3回ブロック会議 6日(木)・13日(木)・14日(金)・20日(木)・21日(金)
- 3月
  - 市補連第8回理事会 12日(木)

雑感

青少年補導員はPTAの役割として参加をしましたが、思いがけず数多くの貴重な経験をさせていただきました。補導員の活動は、地域の子どもたちと関わる事ができ、今の子どもたちの雰囲気や良くなる事ができます。みな可愛い我が子のように感じます。近年は子どもが被害者となる痛ましい事件が日本中で起こっています。可愛い子どもたちのために、少しでもそうした悲劇が減るよう、地道に取り組んでいければと思います。(K・O)

